

■ ===== 2013/7/21 ===== ■

◆◆ 建設トップランナー倶楽部 通信 42号 ◆◆

■ ===== ■

《内 容》

- 【 1 】 文科省 天井落下防止策の手引き作成 体育館施設総点検
- 【 2 】 日本建設業連合会 適切な価格の下請契約へ検討会議発足
- 【 3 】 米田教授が「異種の道」講演 自民国土強靱化総合調査会
- 【 4 】 人材不足解消へ 国交・厚労省が域単位で協議の場を設置
- 【 5 】 施工管理技士の受検資格見直し 高卒者の実務経験年数等
- 【 6 】 他府省もNETIS積極活用 老朽化対策で副大臣級会議
- 【 7 】 13年度建設投資が11%増 90年以来の2桁増 投資増加
- 【 8 】 インフラの町医者 第8回建設トップランナーフォーラム
- 【 9 】 技能労働者の賃金水準を調査 国交省「結果に応じ再要請も
- 【 10 】 優良事業者認証今秋から試行 社会保険加入を段階的に評価

※7月2日に開かれた「第8回建設トップランナーフォーラム」の連載が地方建設記者の会加盟の19社で始まりました。このうち、建通新聞社の東京版、神奈川版では7月19日を皮切りに連載の掲載が始まりました。第1回には、日本青年会議所建設部会の田井慶一郎部会長のあいさつ、米田雅子慶應義塾大学特任教授の趣旨説明、谷口博昭国土技術研究センター理事長の来賓あいさつが紹介されています。ご覧ください。

【 1 】 文科省 天井落下防止策の手引き作成 体育館施設総点検

□文部科学省は17日、東京・霞が関の本省講堂で、建築士など学校施設整備の実務者を対象に「天井等落下防止対策の手引き」（案）の講習会を開きました。災害時に避難場所となる屋内運動場（体育館）、武道場、講堂、屋内プールなど大規模空間の全施設を天井耐震点検の対象とする必要性を説明。天井の補強や再設置は困難でコストがかかることなどから、確実に安全な方策として「（天井の）撤去を中心とした落下防止対策の検討」を促しました。

<http://www.senmonshi.com/archive/01/01A2JICe2H2U2A.asp>

【 2 】日本建設業連合会 適切な価格の下請契約へ検討会議発足

□日本建設業連合会（日建連、中村満義会長）は、設計労務単価の大幅アップを踏まえた「適切な価格での下請契約の締結」に取り組むための検討会議を設置します。土木と建築の契約実務の違いを考慮しつつ、労務単価を明示した1次下請けとの契約締結の在り方や、賃金支払い状況調査の方法などについて統一的な要領を定めるのが目的です。7月18日の次回理事会をめぐり内容を固め、同月内に実行に移します。

<http://www.senmonshi.com/archive/01/01A2KICG01U790.asp>

【 3 】米田教授が「異種の道」講演 自民国土強靱化総合調査会

□自民党の国土強靱（きょうじん）化総合調査会（二階俊博会長）が21日に開かれ、米田雅子慶応義塾大学特任教授は、岐阜県内で進めている「防災・命の道をめざす異種の道ネットワーク」の取り組みについて講演しました。米田教授は「道路には地図に載らない多くの国有林道や民間道があります。こうした『異種の道』をつなぐことが、防災対策や孤立集落対策に役立つ」などと事業の効果を説明しました。

<http://www.senmonshi.com/archive/01/01A2PI3u01U790.asp>

【 4 】人材不足解消へ 国交・厚労省が域単位で協議の場を設置

□国土交通省と厚生労働省は、建設業の技能労働者不足の解消に向け、人材確保・人材育成・人材移動の円滑化を図る「当面の建設人材不足対策」をまとめました。全国のハローワークで「建設人材確保プロジェクト」を開始し、未紹介・未充足の建設職種の求人をフォローアップしたり、求人に関する最新動向を建設資格保持者らに提供。元請け・下請け・教育機関などの実務者による協議の場を都道府県単位で設置し、関係者の連携による人材育成策を推進します。若年者雇用に関する助成制度を周知し、建設企業に制度の活用を促します。

<http://www.senmonshi.com/archive/01/01A2PI50B5DF2H.asp>

【 5 】施工管理技士の受検資格見直し 高卒者の実務経験年数等

□国土交通省は、監理技術者などの技術検定試験の受験資格要件を緩和する方向で検討に入りました。土木施工管理技士など6職種の技術検定について、受験資格として求められる実務経験年数に特例を設けるなどして、経験年数を短縮する方向で検討します。特に、最速でも卒業後10年を経過しないと1級の受験資格を得られない高卒者の実務経験年数の見直しを検討する。受験資格を緩和することで、建設企業に若手技術者を確保・育成する取り組みを促す狙いがあります。

<http://www.senmonshi.com/archive/01/01A2RITE01U790.asp>

【 6 】他府省もNETIS積極活用 老朽化対策で副大臣級会議

□国土交通省などの関係府省庁が社会資本の老朽化対策を話し合う副大臣級会議（議長・鶴保庸介副国交相）が発足し、27日に初会合を開きました。9府省庁の副大臣が集まり、老朽化対策に役立つ新技術の開発・導入の分野で連携を図る目的で設置したものです。初会合では、点検・診断技術の開発・掘り起しを加速させるため、国交省の新技術活用システム（NETIS）に登録した技術を他の府省庁の現場でも積極的に活用することを確認。新技術の活用について自治体と連携を強化する方針も示されています。

<http://www.senmonshi.com/archive/01/01A2TIJz2H2U2A.asp>

【 7 】13年度建設投資が11%増 90年以来の2桁増 投資増加

□2013年度の建設投資（名目値）は、前年度比11・2%増の49兆9500億円と1990年以来の2桁増となる見通しであることが、国土交通省のまとめで明らかになりました。見通し額の増加は2年連続。政府投資が2012年度補正予算に盛り込まれた公共事業費の影響で16・4%増の21兆9600億円となったことに加え、民間投資も景気回復で7・5%増の27兆9900億円に増えるとなりました。リフォーム・リニューアル投資額の8兆6900億円（1・5%増）を加えた合計額は56兆3000億円を見込んでいます。

<http://www.senmonshi.com/archive/01/01A31J9j01U790.asp>

【 8 】インフラの町医者 第8回建設トップランナーフォーラム

□地域建設業は存在そのものが安心感につながる「町医者」を目指すべき。建設トップランナー倶楽部（代表幹事・和田章東京工業大学名誉教授 代表幹

事・米田雅子慶応大学特任教授)は2日、東京都内で「第8回建設トップランナーフォーラム」を開き、災害への対応や老朽化した社会インフラの適切な維持管理、そして地域の雇用を守るのが地域建設業者の役割であることを全国の参加者とともに確認しました。新規事業や災害復旧など“町医者”として活躍する全国のトップランナーがその取り組みを紹介しました。

<http://www.senmonshi.com/archive/01/01A33LP4B5DF2H.asp>

【 9 】 技能労働者の賃金水準を調査 国交省「結果に応じ再要請も

□国土交通省は、2013年度の公共工事設計労務単価の引き上げを受け、現場技能労働者に対する賃金水準調査を7月から開始します。例年行っている「下請取引等実態調査」に賃金水準や社会保険加入状況に関する項目を追加したり、4月以降の直轄工事の落札状況を監視することで、労務単価が技能労働者の賃金に適切に反映されているかどうかの実態を把握します。調査結果によっては、建設業団体に賃金水準の確保をあらためて要請するなど、必要な対策を講じるとしています。

<http://www.senmonshi.com/archive/01/01A35IGJ2U2AXD.asp>

【 10 】 優良事業者認証今秋から試行 社会保険加入を段階的に評価

□国土交通省は、社会保険加入に取り組む専門工事業者に対する「優良事業者認証制度」を今秋にも試行する方針です。認証制度は、技能労働者の雇用改善や不良不適格業者の排除を目的に、社会保険専門工事業団体を認証機関とし、社会保険加入に取り組む事業者を段階的に認証する仕組みです。国交省が試行を希望する専門工事業団体を3～10団体募り、試行した結果を検証した上で、早ければ2014年度にも制度を本格的にスタートさせる考えでいます。

<http://www.senmonshi.com/archive/01/01A3@IEF2H2U2A.asp>

* 配信停止を希望される方、アドレス変更は、当メールへの返信でお知らせ下さい

建設トップランナー倶楽部

事務局 大里茂登子、田中清子

mail:ohsato@kentop.org

<http://www.kentop.org/>

〒113-00023

東京都文京区向丘 1-5-4 ワイヒルズ 2 階

米田事務所

TEL 03-5876-8461 FAX 03-5876-8463
